

# 化学構造解析だけじゃもったいない！ 医薬品開発への NMR の応用

主催：日本薬剤学会物性 FG

日時： 2017年8月4日（金）10：30~16：55

場所： 星薬科大学 百年記念館（東京都品川区）

これまでの創薬研究における NMR の利用は化学構造の同定が主であった。しかし近年の NMR はハード・ソフト共に発展著しく、溶液試料以外にも固体試料やひいては半固形試料の測定も可能となり、操作自体も極めて容易である。また NMR はその優れた分解能から医薬品製剤のような混合試料の測定は本来から得意とするところである。このような理由から、NMR は医薬品原薬・製剤の定量評価・物性評価に欠かせない測定法の一つとなりつつある。本会では、NMR を全く使ったことがない、これから NMR を使ってみようと考えている分析・製剤研究者を対象とする。「わかりやすい」をコンセプトに、NMR を構造解析以外の創薬研究に応用している産官学の研究者からご講演頂き、NMR 研究について基礎から学ぶ。

## プログラム

- 10 : 30-10 : 35 はじめに  
星薬科大学 米持 悦生
- 10 : 35-11 : 15 始めよう固体 NMR (仮)  
株式会社 JEOL RESONANCE 矢澤 宏次 (仮)
- 11 : 15-12 : 05 特別講演 定量 NMR の基礎と日本薬局方での利用  
国立医薬品食品衛生研究所 合田 幸広
- 12 : 05-13 : 15 休憩
- 13 : 15-13 : 55 溶液 NMR によるリポソーム膜の構造と薬物保持状態の解析  
姫路獨協大学 岡村 恵美子
- 13 : 55-14 : 35 MRI を用いた半固形製剤の製剤物性評価  
富山大学 大貫 義則
- 14 : 35-14 : 50 休憩
- 14 : 50-15 : 30 原薬及び製剤分析における固体 NMR の利用 (仮)  
武田薬品工業株式会社 武田 純平
- 15 : 30-16 : 10 固体 NMR を用いた物性評価研究 ―製薬会社での利用例を交えて― (仮)  
第一三共株式会社 丸吉 京介
- 16 : 10-16 : 50 企業での研究・開発における固体 NMR の利用  
株式会社東レリサーチセンター 木村 一雄
- 16 : 50-16 : 55 おわりに  
星薬科大学 米持 悦生
- 17 : 00-19 : 00 情報交換会

## 開催概要

参加費：セミナー（7000 円）、情報交換会（3000 円）

会場：星薬科大学 百年記念館

URL：<http://www.hoshi.ac.jp/site/>

〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41



参加申込方法：

参加を希望される方は、①お名前、②ご所属、③懇親会の参加予定について明記し、2017年7月1日（金）までに、E-mail ([apstj.fg.pp@hoshi.ac.jp](mailto:apstj.fg.pp@hoshi.ac.jp)) にて、ご連絡ください。定員は50名で、先着順とさせていただきます。

お問い合わせ・申込み先：

事務局：千葉大学大学院薬学研究院 製剤工学研究室内 東 頭二郎まで

電話/FAX：043-226-2866

E-mail: [apstj.fg.pp@hoshi.ac.jp](mailto:apstj.fg.pp@hoshi.ac.jp)

URL：[http://www.hoshi.ac.jp/apstj\\_fg/](http://www.hoshi.ac.jp/apstj_fg/)